

流動性とボラティリティー

マーケットの構造を理解する

ラジオ日経用 12月12・19日レジメ

松島弘典



流動性

- よく語られる言葉だが、どういう意味か
 - 4つの要素がある
 - 即時性
 - 幅
 - 厚み
 - 復元性

流動性には
価格、価値がある

ボラティリティ

- **2種類** (ともに概念的なものとしてしか捉えられないが・・・)
 - **ファンダメンタル**
 - (基本的な価値が変わるようなイベント、例えばその会社に火事とかが起こったとき)
 - **トランジツトリー(一時的な揺らぎ)**
 - ファンダメンタルな要素でなく純粹に思惑で動いている部分

取引の種類

- 取引すると宣伝しているもの
- 取引の意思はあるが隠しているもの
- 1方向で考えた場合
 - 旅行カバンを探した場合
 - 一番安い業者かどうか分からないから順次探す
 - 過去には帰れない
 - 値段が最安値か分からないが、ある程度予想立てて判断する
 - 目的のカバンを陳列しているとか、値札が出ているとは限らない

自分の取引は市場にどのような影響を与えているの

- 指値というのは、流動性を提供している
 - 板情報は指値の集合体
 - それ自体は単体として、寄り付きの段階は別として価格の変動をもたらさない
- 成行注文(取引値段)というのは、意図を隠している注文である
 - 板情報に出ていない意向
 - 板情報に値段をつけている正体(ボラティリテー)

板情報に何を見る



売数量	値段	買数量
	成行	
171	15150	
42	15140	
56	15130	
56	15120	
65	15110	
113	15100	
125	15090	
167	15080	
	15070	47
	15060	119
	15050	168
	15040	88
	15030	56
	15020	37
	15010	32
	15000	50

- リスクテーカーから見れば、指値はある程度手札をさらしてポーカールールをしているように見えなくもない
- 板情報の裏に隠れた注文を想像しないとマーケットは読めない
- 自分の注文が指値か成り行きかによって、流動性に寄与したか、ボラティリティーに直接寄与したかともいえる